

平成21年5月1日

九州大学学生、教職員及び全ての関係者 各位

九州大学新型インフルエンザ危機管理本部WG長 今泉勝己

新型インフルエンザに関する海外渡航について（重要）

現在、新型インフルエンザはメキシコ、アメリカ合衆国だけでなく欧州にも拡がり、すでに13カ国・270名以上の発症が確認されています。

そこで、本学危機管理本部WGは、本学の全ての関係者に対し、以下の事項について注意喚起を行うとともに要請します。各位におかれては、十分な意識を持って対応いただきますようお願いいたします。

<新型インフルエンザ発生国及びその疑いのある国への渡航の自粛、その他の国への渡航の検討>

当分の間、発生国及びその疑いのある国への渡航を自粛するとともに、他の国への渡航についても、その危険性と必要性を勘案の上、ご検討ください。

やむを得ず渡航する場合は、人混みを避ける、うがい、手洗い、マスク着用などの対応を行い、渡航先に関する最新の情報を入手するように努めてください。

なお、私用の旅行も含めて海外旅行をする場合は、学生にあつては所属部局の学生担当係へ、教職員にあつては所属部局の人事担当係に、渡航先と日程について必ず届け出てください。

リンク：外務省「新型インフルエンザに関する最新情報」

http://www.mofa.go.jp/mofaj/kinkyu/1/20090430_144154.html

以上